

公益財団法人鹿島美術財団 2012（平成24）年度 事業計画

2012年度は、昨年度とほぼ同様の予算編成とし、美術振興のために、美術に関する調査研究の助成を中心に、出版援助、国際交流援助、美術普及振興事業を行う。美術普及振興事業に関しては、5年に1度の『鹿島美術研究』総索引 CD-ROMの作成に加え、特別なプロジェクトのため、昨年度比増となっている。

1. 美術に関する調査研究の助成（予算額 3,000 万円）

美術に関する調査研究の助成は、当財団の最重点事業でもあるので、事業予算は、財団賞 100 万円を含め 3,000 万円とする。

2. 出版援助と国際交流援助（予算額計 900 万円）

出版援助に 500 万円、国際交流援助に 400 万円を計上する。

3. 美術普及振興（予算額 1,200 万円）

美術普及振興としては、研究助成と財団賞授賞式に続いて行う研究発表会のほか、恒例の秋の美術講演会を行うと共に、その『講演録』を刊行し、『鹿島美術研究』抜刷を制作する。

また、今年度は5年に1度の制作年に当たるため『鹿島美術研究』総索引 CD-ROM を刊行、C.I.H.A.（The Comité International d'Histoire de l'Art 国際美術史学会）や J.A.W.S.（International Workshop on Japanese Art History for Graduate Students 日本美術史に関する大学院生会議）などへの援助を行う。